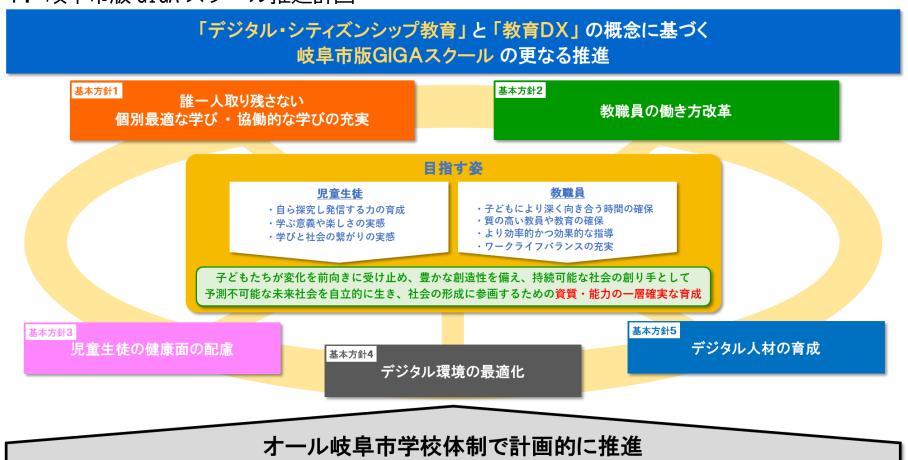
「デジタル・シティズンシップ教育」と「教育DX」の概念に基づく 岐阜市版 GIGA スクールのさらなる推進(岐阜市 GIGA スクール推進計画 R4.3 策定)

1. 岐阜市版 GIGA スクール推進計画



2. 「デジタル・シティズンシップ教育」とは?

## 私たちの社会、生活がデジタル化することによって変化

この変化を、前向きに捉え、よりよい方向にするために、子ども、教師、保護者、地域の人々が、同じ市民として、

「テクノロジーをうまく活用しながら、デジタル時代の善き市民として生きるには、どうしたらよいか?」

を考える「場」を作る。

これが、「デジタル・シティズンシップ教育」です。

(資料提供:岐阜聖徳学園大学 教育学部 芳賀髙洋 教授)

ICTやデジタル社会は危険を伴うので「~をしてはならない」という、 大人の価値観を「正解(答え)」として教え、子どもに思考停止させたり、 「答え合わせ」をする、旧来のいわゆる「〇×教育」からの脱却を目指す

例) これまで これから

iPadは落とさないように

「**万一落としてしまったら、どうすればよのだろう?**」 を一緒に考える

- ・どこか割れていないか?
- 電源は入るか?
- ・先生や保護者に見てもらおう

パスワードは 他の人に教えてはいけません 「**どうして教えてはいけないのだろう?**」 を一緒に考える

人を勝手に撮影してはいけません

「**勝手に撮影するのは何がいけないのだろう?**」を一緒に考える

## 3. 「教育DX (デジタルトランスフォーメーション)」の具体

## GIGAスクール構想による「学校教育の変化」

PC これまで の情報 化

- 「学校の中だけ」で使う
- 「授業で必要となったときだけ」使う
- ・利用権限(選択権)は教員のみにある
- · 「共有物」としての扱い
- 「教具」としての扱い
- 使い方が「画一的」
- すべて学校におまかせ
- 集団最適
- ・保護者には、ほぼ説明不要

1人 これからの 情報化

- 学校や家庭を含む「社会的活用」
- ・授業を含めた「日常での活用・日常的な活用」
- ・利用権限(選択権)は児童生徒にもある
- 「自分の持ち物」としての扱い
- 「文具的」
- ・使い方は「**多様**」で「自由」
- ・保護者との協力が不可欠
- 個別最適
- ・事前に保護者に説明し、共通理解を図り、利用 規約等の同意契約を結び(インフォームド・コン セント)、常に協力していく体制を作る

コンセプトが全く異なる

(資料提供:岐阜聖徳学園大学 教育学部 芳賀髙洋 教授)